



人類に
奉仕する
ロータリー



John

ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No. 7

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“すばらしい仲間を持とう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 利他の心を持とう
- ③ フィロソフィを持とう

例 会 記 録 (2016. 8. 19 (金)) 通算3,091回

◆開 会

◆唱 歌 ロータリーソング「我らの生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

ガバナー 室津義定氏、随行者 勝本氏

◆来訪ロータリアン

高砂青松RC 伊藤勝之会員

◆歓迎歌「松の緑」

◆プログラム予定

8月26日(金)	9月2日(金)	9月9日(金)	9月11日(日)
高砂青松RCとの移動合同例会 「どうなる!?日本経済: マーケットを読み解けば」 滝川好夫様 (経済学者・大学教授)	卓話「万灯祭」 信原智彦会員	卓話「人間にとってなぜ 教育が必要か?」 伊藤朋子様(大学教授)	移動例会(16日分) 家族移動例会 サーカス「トーテム」 鑑賞

◆退会あいさつ

濱崎日出夫会員



◆出席報告

本日	8月19日	会員数39名	出席者34名	出席率	91.89%
前々回	7月29日	会員数39名	修正出席者39名	出席率	100.00%修正

◆MAKE-UP

桂田 重信会員	高砂青松RC	8月17日 (8月19日)
覚野 成広会員	高砂青松RC	8月17日 (8月26日)
桂田 重信会員	高砂青松RC	8月10日 (8月5日)
本庄 幸保会員	e-CLUB	8月5日 (8月5日)
落合 計夫会員	e-CLUB	8月9日 (8月5日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

室津義定ガバナー……高砂ロータリークラブの皆様よろしく。

中野 哲郎会長……室津ガバナーをお迎えして。

豊田 克義幹事……室津ガバナー、勝本随員、宜しくお願ひ致します。

守光 隆会員……室津ガバナー、勝本随行者をお迎えして。

濱崎日出夫会員……8月末で退会となりました。6年間色々お世話になりました。

尾上 喜秀会員……坂井先生、昨日はレーザー手術お世話になりました。

脇谷 政孝会員……皆様にご支援いただいた大野将平選手がリオ五輪柔道競技にて、見事に金メダルを獲得しました。ありがとうございました。

山名 克典会員……誕生日祝を頂きありがとうございます。

本庄 幸保会員……誕生日祝を頂きありがとうございます。

◆幹事報告（3,091回）

高砂RC例会変更のお知らせ

- ◎9月16日（金）→ 9月11日（日）家族例会
場所：大阪中之島ビッグトップ
（シルク・ドゥ・ソレイユ“トーテム”鑑賞）
- ◎9月23日（金）→ 休会（定款第6条第1節（C）による）

〈ガバナー事務局より〉

- ◎『丸山直前ガバナー事務所閉所のお知らせ』
- ◎『クラブアンケートにつきまして』
が届いております。

〈国際ロータリー事務局より〉

- ◎『2016-17年度公式名簿の配布について』
- ◎『オンライン研修「クラブのためのよくわかる寄付と認証」開催』
- ◎『地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内』 実施クラブ：神戸東ロータリークラブ
が届いております。

〈例会変更のお知らせ〉

- ◎姫路南RC 9月19日（月）休会

〈その他〉

- ◎公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団より
『平成28年度サマープログラム募金ご協力のお礼』
- ◎高砂観月能の会より
『「第20回高砂観月能」広告協賛のお願い』
- ◎ロータリー米山記念奨学会より
『「ハイライトよねやま197号」発行のお知らせ』
が届いております。



豊田克義幹事

◆会長の時間

本日は室津義定ガバナーにお越しいただいています。遠いところ、また暑い中ありがとうございます。後ほど、お話をさせていただきます。よろしくお願ひします。

さて、みなさん、リオオリンピックで寝不足になっているのではないのでしょうか。今回のオリンピックは、序盤から水泳、柔道、体操と絶好調で続いてテ



中野哲郎会長

ニス、卓球、バドミントン、レスリングと大変面白いです。そんな中で、選手のコメントは、応援してくれている人に、監督に、コーチ、スタッフに「感謝」という言葉が必ずと言っていいほど入っています。また監督、コーチは「教えてやった」とか「してやった」とかの言葉じゃなくて、監督、コーチの気持ちはキリストの言葉を借りて言えば「感謝を期待するのではなく、与える喜びのために与える」ではないでしょうか。「感謝」という意味で、京セラフィロソフィの中で、稲盛さんは「常に謙虚であらねばならない」と言っています。スポーツと同じで企業経営でも、集団のベクトルを合わせていくためにも謙虚さが必要だと言っています。「俺が俺が」とか「俺ばかり」「俺だけがやらされてる」とか言うようではチームワークなど取れるはずはない、謙虚に感謝の気持ちを持ち続けなさいと言っています。これは、ロータリーの理念も同じだと思います。

オリンピックの話に戻します。私は男子柔道の井上康生監督が号泣しながら言っていた「選手を誇りに思う」というコメントが印象に残っています。その言葉について、井上監督の記事を紹介します。金メダルは、73kg級の大野と、90kg級のベイカーの2つだったが、男子は1964年の東京五輪以来となる全階級メダル獲得の偉業を成し遂げた。ソウル五輪以降、7階級になってからは初の快挙だ。日本柔道の象徴ともいえる最重量級の100kg超級では原沢が銀メダルに終わったが、6年間無敗の絶対王者、リネールを追い詰めて、会場からは逃げるリネールにブーイングが起きた。16年間、メダルから遠のいていた100kg級も羽賀がモチベーションを切らさず敗者復活戦から銅メダルを獲得した。

山下泰裕強化委員長は、大会の総括会見で「日本柔道が完全に復活したと、世界が見てる。これは亡くなった斉藤仁強化委員長、井上監督、共に頑張ったコーチや所属のコーチ、みんなの力がある。」

日本男子柔道は確かに復活した。

この4年間、井上監督が推し進めてきた数々の改革が実を結んだ瞬間だった。勝利の改革である。

ロンドン五輪で史上初の金メダルなしの屈辱にまみれた日本男子柔道は、当初、篠原前監督の続投の方針でいた。だが、篠原前監督を推挙していた強化委員長の吉村氏が助成金の問題で体制から外れると、篠原氏が辞任の方向を固め、責任者がロス、ソウル五輪の95kg超級の金メダリスト、故・斉藤仁強化委員長に変わり、34歳だった井上監督に再建を託す方向性が決まった。

ロンドン五輪には強化コーチで参加していた井上監督は、2012年11月の就任会見で「いかにして組んで一本を取りに行く過程をつくるか。それを考える。そのためにスポーツ科学も利用する。どうすれば、効率よく勝てるか考えた上でトレーニングをして総合力で戦う」と所信表明をした。

井上監督は、その言葉通り、まず稽古の中身を見直した。量より質。体育会系のランニング、寝技、乱取りで汗を流すだけの練習内容を見直して、ボディビルの専門家を招き、筋力、持久力の科学的トレーニングを取り入れたのだ。また栄養学の専門家にも相談、トレーニング、食事、休養のバランスを考えてスケジュールを組んだ。また試合の対策も、

今までのように、ただビデオを見てあれこれ策を練るだけでなく、対戦相手の傾向や選手、自らの長所、短所、フィジカルなどをデータ化して示した。

「世界の柔道に対応するためには、対戦相手のルーツを知ること」と、ブラリアン柔術、サンボ、モンゴル相撲、沖縄角力といわれる沖縄相撲まで選手に体験させた。ジョージアの躍進が民族格闘技の「チダバオ」にあるとも言われていて、まるで武士道の基本、敵を知ることから始めたのである。

その一方で、精神論にも力を入れた。科学と非科学の融合である。

代表争いでは、最後の最後まで競争をあおり、2年前には賛否に耳を貸さずに100kg級で世界選手権へ代表を送らなかった。非科学の部分では、柔道3連覇の野村忠宏を合宿に招き、体験談を語ってもらう。野村は「五輪は特別な力がないと勝てない」と、勝者にしか語れないメンタリティを代表選手に伝えている。

リオ五輪前には、選手に「おれが金メダルを取る！と豪語しろ！」と命令した。有言実行論である。

実際、大野は「最低でも金」といい続け、「井上監督からは、もっとも金メダルに近い男とプレッシャーをかけ続けられたが、その期待に応えられて良かった」と、金メダル獲得後に語り、井上監督から「よく耐えた」と言葉をもらおうと、涙を流した。

井上監督は「組織」の変革にも手を打った。軽、中、重の担当コーチ制を復活、重量級は、アテネ五輪100kg超級の金メダリスト、鈴木桂治が担当した。師弟のつながり、チームのまとまりが、目に見えない力を日本選手団全員に与えることを、井上監督は自らの体験から熟知していたのである。

この言葉は、組織運営、会社経営の参考になるとおもいます。

3連覇の野村忠宏は、「井上康生が監督になって改革に取り組み本当に強くなった。篠原先輩がダメと言っているわけではなく、いいものを引き継ぎ、そして悪いものを改革するというやり方をしている」と、大会前から、井上路線を高く評価していたが、代表の空気も選手の勝利に対する意識も大きく変化していた。

東京五輪への期待が高まるが、その一方で、原沢がリネールに勝てなかった試合が示すように勝負に徹しきる「JUDO」への対応は、まだ不完全である。だが、井上監督は、さらなる強化プランを暖めているという。

私は、オリンピック選手の頑張りは感動と元気を与えてくれるものだと思います。4年後の東京オリンピック、予算に対しても政府が東京都がとか言っていますが、日本の国力で最高のオリンピックになればと応援します。また、全国のロータリアンもそう願っているのではないのでしょうか。とっても楽しみです。

◆本日のプログラム

クラブアッセンブリー
「ガバナー公式訪問」 ガバナー 室津義定氏



会長 中野 哲郎 幹事 豊田 克義
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 宗久
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/